



古川 昇 議員

変わる介護保険制度について

質問

平成27年の施行に向け進められている介護保険制度の改

正案は、低所得者の保険料軽減措置などが含まれる一方、サービスの重点化・効率化が強調され、介護予防給付の削減を図る施策が盛り込まれている。

この改正案は介護予防事業の地域支援事業への転換の方向であるが、市が主体となっている地域支援事業の現状と今後の方向性について伺う。

また、介護が必要になって暮らせるまちづくりに必要なことは何か。民生委員・地域・



吉岡 静夫 議員

市財政の現実について

質問

地方債残高見込みで見る限り、市民一人当たり約90万円の

借金というような状況下で、例えば工場の誘致が頓挫した件や権現荘・温泉センターの改修の件では、億単位の対応が必要となっている。市は「公」でやるべきことと「民」が入りこめることの仕分けの整理ができていないように思うが、こういう状態のまま億単位の公金を動かすことには慎重にも慎重を期す必要があるように思う。市の考えを伺う。

企業等による安否確認・見守り体制の状況についても伺う。

市長答弁

地域支援事業については、介護予防事業に重点を置いて活動しているが、対象を虚弱

高齢者から健康高齢者へ重点を移し、自身で取り組める介護予防事業を積極的に推進していく考えである。

介護が必要となっても安心して暮らせるまちづくりについては、医療・介護・予防・住まい・生活支援が連携した

市長答弁

糸魚川市総合計画実施計画の中で、中長期的な視点に立った事業計画を策定しており、今後も計画的な事業実施により、健全な財政運営に努めていく。

これから取り組むべきことを

質問

近年、社会構造が急激に変

要介護者への包括的な支援「地域包括ケア」の仕組みづくりが必要だと考えており、そのために、地域の理解や多職種連携による支援体制の充実を図っていく。

見守り体制については、ひとり暮らし高齢者安否確認事業や緊急通報装置貸与事業など、民生委員や関係団体と連携して見守りや安否確認を行っている。また、今年度、高齢者等の見守り支援ネットワーク会議において地域の関係者が一堂に集まり、情報交換

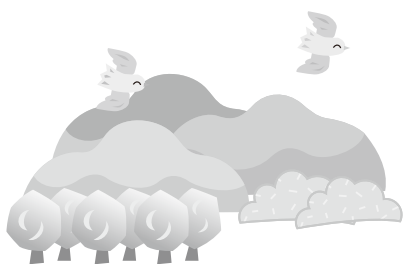
化する中、30年先、さらにその先を見据え、「樹林墓地構想」をこれからのまちづくりの柱に据えるべきだと思いが、市の考えを伺う。

市長答弁

樹林墓地については市民ニーズや地域住民の感情も考慮する必要があると考えており、市で取り組む考えはない。

《その他質問項目》

○基本姿勢・足元について



を行っている。